

## 国総研資料第 1332 号「内湾における海生生物の 生息場ネットワークの定量化に関する検討 ー東京湾におけるホソウミニナの場合ー」を刊行します

生物が複数の生息場を行き来することで形成されるネットワークに着目し、人工干潟等のブルーインフラが広域的な生物多様性の持続にどのように貢献するかを評価する手法の開発に取り組みました。その初期的な検討として、東京湾に生息する巻貝（ホソウミニナ）を対象に、ネットワークの強さを示す指標の提案およびネットワークの定量化を行いました。

### <目次>

1. はじめに
2. 方法
  2. 1 対象水域
  2. 2 対象種
  2. 3 現地調査
  2. 4 血縁度に基づく生息場ネットワークの強さの算出
  2. 5 生息場ネットワークの強さと生息環境との関係性に関する検討
3. 結果
  3. 1 現地調査結果
  3. 2 血縁度および生息場間の連結性を表す指標
  3. 3 生息場ネットワークの強さ
  3. 4 生息場ネットワークの強さと生息環境との関係性
4. おわりに

本資料は、国総研ホームページで公開しています。

ダウンロード先URL：<https://www.ysk.nilim.go.jp/kenkyuseika/pdf/ks1332.pdf>

### （問い合わせ先）

国土技術政策総合研究所 港湾・沿岸海洋研究部 海洋環境・危機管理研究室  
主任研究官 秋山 吉寛 （内線：3211）  
TEL：046-844-5023 E-mail：akiyama-y92y2@mlit.go.jp